

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp

【研修会参加報告】

鳥取県隣保館連絡協議会職員研修会

と き 4月17日(火)

演 題 「新たな隣保館をめざして」

～みんなに必要とされる館づくりのために～

講 師 全国隣保館協議会 会長 川崎正明

《研修会概要》

隣保館の必要性・重要性

人のつながりを通して援助を与え、自力による生活の向上、社会参加をさせるための運動、活動の総合的窓口。

隣保館職員の役割

(1) 日常業務は社会調査研究事業から(課題が見えないと出発もない)

※利用者のニーズ、周辺地域の課題は何か

(2) 自己実現支援機能(相談)としての隣保館

※相談は傾聴(きくこと)。当事者(相談者)自身が解決できるようアドバイスを行う。相互の信頼関係が大切。

(3) 質(スキル)の向上のために最低限やるべきこと

※従来の実施方法や常識にとらわれず、現状を把握・分析しチェックする。

※目標の設定と、実務と研修の繰返し(自己研鑽)

《まとめ》

つながりは机の上ではできない。地域を回り人の関係(信頼)を創り出す。

『平成24年度部落解放・人権尊重標語』募集

人権尊重の意識高揚をを目指して、町内の小学校、中学校、高校の児童生徒や町民の皆さんから『部落解放・人権尊重標語』を募集しています。

人は誰でも「幸せに生きる権利」を持っています。人権を守るために一人一人ができることやしたいことなどを標語にしてみませんか。皆さんの作品をお待ちしています。

◆募集締切 6月20日(水)

◆提出先 下榎隣保館、町教育委員会、町公民館

◆応募用紙 用紙の指定はありません

※入選者には賞状と記念品を贈呈するほか、入選作品は広報ひのやごみ収集カレンダーに掲載するなど、啓発活動に活用します。

※入選者には賞状と記念品を贈呈するほか、入選作品は広報ひのやごみ収集カレンダーに掲載するなど、啓発活動に活用します。

こんにちは、生活相談員です！

世代が核家族、少子高齢化により、夫婦高齢者世帯と独居世帯が大半を占める現状にあるなかで、日常生活が不安定になる要素がたくさんあり、最近では各地で孤独死が相次いでいます。

地域訪問見守り活動で、一人で暮らしている65歳以上の高齢者宅に伺い、話し相手として体調や近況伺い、困りごとや生活相談などを受けています。

また、行政からの連絡文書など、高齢になると見落としやすい文書申請手続きをはじめ、補助制度などをできるだけ多くの人に利用していただけるよう手助け、目配り、気配りを大切に活動しています。

役場、民生委員、自治会とつながり、地域住民で支えあえる町づくりができればと思います。

高齢者の孤独、孤立感情を防ぐために…

高齢者の社会参加から地域の仲間づくりへ…

①地域の老人会加入

仲間から元気がもらえますよ。

②よってみよい家

色々な企画で楽しく過ごせます。

③グラウンドゴルフ

楽しく運動ができ、若返ります。

④囲碁将棋会

脳の活性化につながります。

活動に参加してみませんか。

地域の情報が得られ、仲間で気づかうことができ、支えあいの場になりますよ！

日野町生活相談員 西村千秋

— 6月の行事予定 — 参加してみよいや！

参加申込みなど詳しくは、
下榎隣保館(電話72-1191)まで

★セラバンド体操 6月13日(水) 10:00～11:30

講師：高橋伸也さん 会場：老人憩の家

★生け花(草月流) 6月16日(土) 13:30～16:00

講師：生田清子さん 会場：下榎集会所

※このほか、クレイフラワー教室も予定しています(日程調整中)。

平成 24 年度事業計画などを決定

▶日野町人権・同和教育推進協議会 総会



多くの会員が出席した総会

4月24日、山村開発センターを会場に自治会長の皆さんや各種組織、関係団体の代表者など会員87人が出席し、町人権・同和教育推進協議会の平成24年度総会を開きました。

はじめに、同協議会長の景山享弘町長が「昨年度は過去最も多い48の自治会で小地域座談会が開催され、また話し合いも好評だったと聞いています。人権のまちづくりへの成果は見えにくいですが、気兼ねなく相談できる『助け上手、助けられ上手』な安心して住めるまちづくりが求められています。今後はその活動に磨きをかけていただきたい」とあいさつ。議事を審議し、決算、事業計画の承認を行いました。

■決算、事業計画・予算案を承認

主な内容は次のとおりです。

【23年度事業実績】

- ・町人権啓発及び第36回人権・同和教育研究集会は10月19日開催、171人参加
- ・小地域座談会は過去最多の48自治会で開催、420人が参加
- ・町民人権講座は4回開催、305人が参加
- ・鳥取県研究集会や全国大会等への参加、広報紙の毎月発行など

【23年度決算】

- ・収入総額 406,213 円（町補助金 400,000 円ほか）
- ・支出総額 406,093 円（部会の研修費他 37,455 円、町人権・同和教育研究集会の開催、県研究集会や全国大会参加費 322,838 円、事務費その他 45,800 円）

【24年度推進目標】

『助け上手、助けられ上手』を暮らしの中で実践に

《重点施策》

- ①人権・同和教育研究集会の開催
- ②小地域座談会の開催及び推進者の養成
- ③部会研修の充実並びに研修会の自主開催
- ④人権講座の開催

【24年度事業計画】

- ・町人権啓発講演会及び第37回人権・同和教育研究集会（10月19日）
- ・小地域座談会の開催（全自治会）および推進者養成講座の開催（3回）
- ・町民人権講座の開催（5回）
- ・鳥取県研究集会他町外研修会等への参加
- ・啓発紙『人権のまち“ひの”』の発行
- ・各部会研修の実施

【24年度予算】

- ・収入総額 400,200 円（町補助金ほか）
- ・支出総額 400,200 円
 総会役員会費 3,000 円（総会、役員会資料作成）
 部会費 60,000 円（各部会研修講師謝金）
 啓発研修費 286,000 円（町研究集会講師謝金、各種研修会参加費ほか）
 事務費他 51,200 円（県人権教育推進協議会負担金、通信運搬費ほか）

第1回町民人権講座 開催 ～もっと知ってください 発達障がい～



【講師】

ペアレントメンター鳥取の皆さん
 参加者は疑似体験をしながら、
 発達障がいについて学びました